

消防機器の改良開発で 全国消防協会会長賞を受賞

令和7年5月30日（金）広島国際会議場において、令和6年度消防機器の改良及び開発に係る会長賞受賞者の表彰式が執り行われたことを受け、その受賞作品である「救急現場での問診用ピクトグラムの開発について」を考案した嶺北消防署 嶋田誉之消防士長が、坂井市長とあわら市長へ表敬訪問を行いました。

この作品は、ある救急現場にて手足が不自由で難聴がある女性との出会いから、コミュニケーションに時間がかかり、そのような負担を少しでも軽減したいとの思い、そして高齢化やグローバル化が進んだ際の簡易的な伝達ツールを作りたいと、一昨年度の消防職員意見発表大会で発表したものを実用化するため開発に至ったものです。

開発には、当消防組合の職員8名でプロジェクトチームを立ち上げ、試行錯誤しながら約半年をかけ作成しました。このツールは QR コードを携帯電話などで読み込むことにより、身体のパクトグラムが表示され、その部位ごとに「痛み」「しびれ」「不快感」等の症状をタップし傷病者との意思疎通を図るものです。

現在、管内すべての救急車に搭載し、外国人や聴覚障害者向けに試験運用を開始しており、さらに改良を重ねてより良い救急活動につながっていかねと考えています。

《連絡先》

嶺北消防本部

消防課 : 坪田

TEL 0776-51-8436

FAX 0776-51-5209

Email shobou@reihoku-fd.jp

